令和8年度

管内事業概要

雄武北部工区区画整理工事

福山左岸上流掘削工事(北見市)

治水事業

網走開発建設部の治水事業は、一級河川4水系(網走川水系・常呂川水系・湧別川水系・渚滑川水系)の河川改修、維持修繕及び河川管理、常呂川水系鹿ノ子ダムの維持管理を実施しています。

令和8年度は、第9期北海道総合開発計画を踏まえ、北海道が我が国に貢献するための強靭な国土づくり、安全・安心な社会基盤を形成するための河川整備の推進を図るとともに、農林水産業や観光等を担う「生産空間」の保全・活用・形成に資する治水事業を実施します。

1. 流域治水の推進

気候変動等に伴う水害の激甚化・頻発化に備えるため、これまでの河川管理者等による対策だけではなく、流域のあらゆる関係者が連携し流域全体で取り組む「流域治水」を推進します。

「流域治水」の考え方に基づき、河道掘削、堤防整備等の治水対策をより一層加速するとともに、施設能力を上回る洪水の頻発化等を踏まえ、ハード・ソフト一体の事前防災対策を推進します。

2. 強靭で持続可能な国土の形成
～強靭な国土づくりの貢献と安全・安心な社会基盤の形成～

◆ 「第1次国土強靭化実施中期計画」に基づくハード・ソフト対策の推進（網走川、常呂川、湧別川、渚滑川）

気候変動の影響や激甚化・頻発化する水災害に対応するため、「第1次国土強靭化実施中期計画」の考え方に基づき、ハード・ソフト一体となった流域治水の取組を加速化・深化させた「流域治水プロジェクト2.0」をとりまとめるとともに、4水系の地域特性を踏まえた、河川における河道掘削、堤防強化、ダムの事前放流等を推進します。

「流域治水」の施策のイメージ

令和８年度　治水事業の概要

事業別		地区別等	事業の概要
河川整備事業	河川改修	網走川	河道掘削等
		常呂川	河道掘削等
		湧別川	堤防強化等
		渚滑川	河道掘削等
	河川維持修繕	網走川、常呂川、湧別川、渚滑川	堤防整理、河川巡視、樹門(樋管)維持管理等
	環境維持	鹿ノ子ダム	防災操作、施設・設備点検整備、観測、流木処理等

河道掘削(常呂川)　堤防強化(湧別川)

◆ 河川維持修繕(網走川・常呂川・湧別川・渚滑川)

河川の適切な機能維持のため、堤防除草や河川巡視・点検を行うとともに、河川管理施設が十分機能するよう、必要な補修・更新を行っています。

また、地域との連携や河川利用の促進を図りながら、河川の維持管理を実施しています。

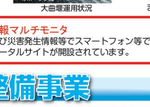
堤防除草状況(渚滑川)

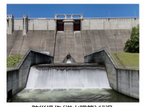
◆ 堰堤維持

鹿ノ子ダム

常呂川上流に位置する鹿ノ子ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水及び水道用水の補給を目的とするオホーツク管内唯一の多目的ダムです。洪水時に確実な防災操作を行えるよう施設や設備の点検・整備、観測に加え、流木処理などの維持管理を実施しています。

網走湖


・オホーツク海
大曲堰漁用状況


防災操作(洪水調節)状況

3. 網走湖が抱える課題の改善
～水域に存在する水生生物の保全を含めた汽水環境の保全～

◆ 網走湖汽水環境保全

(網走湖)
網走湖では、令和7年9月に大規模な青潮が発生しました。その対策として、塩水遮上抑制のため建設された大曲堰の運用期間を延ばすなど柔軟的な運用を実施していきます。

また、今後は気候変動による海面上昇等により、青潮やアオコの発生頻度が高くなることが想定されるため、モニタリングを実施しながら適切な対応をしていきます。

◆ "気象"×"水害・土砂災害"情報マルチモニタ
気象情報、水害・土砂災害情報および災害発生情報等マスコット画面等で まとめて閲覧することを可能としたポータルサイトが開設されています。

国土交通省 川の防災情報 "気象"×"水害・土砂災害" 情報マルチモニタ
https://www.river.go.jp/portal/

都市水環境整備事業

住民、企業、行政が連携し、その地域の河川が有している歴史や文化あるいは優れた景観を備えた貴重なオープンスペースを活かすことで、観光振興や健康増進等により地域活性化に貢献する「まちと水辺が融合した良好な空間形成(かわまちづくり)」を推進します。

◆ 網走湖呼人地区かわまちづくり

網走湖呼人地区の湖畔沿いに河川管理用道路、取付道路の整備を行い、散策やイベント時にも活用するとともに、河川管理用道路沿いに親水護岸、緩傾斜堤備、高水敷整正、利活用拠点整備し、親水性向上を図ることで、水辺と市街地の交へ人の流れや河川空間の賑わいを創出し地域活性化を目指します。

呼人地区かわまちづくり整備イメージパース

四季折々の川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等の川に関する情報を効果的に発信するなどし、地域住民や観光客の水辺利用や周遊等をサポートするとともに、地域の取り組みのネットワーク化を図り、地域の賑わいづくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進します。

道路事業

第9期北海道総合開発計画に基づき、北海道の強みである「食」「観光」を一層強化し、「食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展」「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」に取り組みます。

また、北海道の価値を生み出す生産空間を維持・発展させるべく、都市や市街地と生産空間を結ぶ交通ネットワークを確保するとともに、農林水産品・食料品の輸送や必要な原材料の輸送、観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化するため、「北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成」を推進します。

1. 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

◆ 高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靭化を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。

・旭川・紋別自動車道(国道450号)
　遠軽上湧別道路　延長13.8km
・北海道横断自動車道(国道39号)
　嶮野岬道路　延長14.3km
　女満別空港網走道路(女満別空港～網走呼人)
　延長10.9km
・遠軽北見道路(国道333号)
　生田原道路　延長5.7km

北海道横断自動車道　嶮野高野道路

○ 2050年、WISENET(ワイズネット)の実現に向けた取組
網走開発建設部では「移動時間の低下」の克服に向けた高規格道路の整備を始めとする効果的な道路の向上など、WISENET2050の実現にむけた取組を推進します。

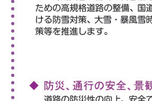
WISENET 2050

2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

◆ ドライブ観光およびサイクルツーリズムの推進

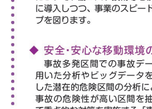
● 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

シーニックバイウェイ北海道の各ルートのなかで、地域が魅力的な多様な景観等を有する道路をシーニックバイウェイ「秀逸な道」と定め、道路管理者と地域が協働してハード・ソフトの景観形成・維持の取組等を行い、観光資源としてさらに磨き上げ、その魅力を発信することでドライブ観光客の誘客を促進しています。


シーニックバイウェイ「秀逸な道」(国道243号 美幌町 白樺並木)

● サイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、安全で快適な自転車走行環境の整備やサイクリストの受入環境の充実、情報発信の取組を推進します。


国道39号 網走市

令和８年度　道路事業の概要

路線名		主な事業
E37	旭川・紋別自動車道	遠軽上湧別道路(高規格道路の整備)
E41	北海道横断自動車道(網走線)	嶮野高野道路(高規格道路の整備) 女満別空港網走道路(女満別空港～網走呼人)(高規格道路の整備)
遠軽北見道路(国道333号)		生田原道路(高規格道路の整備)
国道39号		北見大町電柱対策(電線共同溝の整備) 網走市美幌町共同溝(電線共同溝の整備)
国道39号ほか		交通安全・交通事故対策の整備 交差点改良：　国道 39号　美幌町交差点改良 　　常呂交差点改良(令和3年度新規事業化) 　　国道233号　緑町1丁目交差点改良 　　国道240号　大通南1丁目交差点改良 　　国道334号　中科町交差点改良 視距改良：　国道235号　興部市間立交(令和3年度新規事業化) 　　国道334号　新栄町交差点改良 路肩改良：　国道 39号　泉町西交差点改良 　　国道333号　北成町西交差点改良 　　国道334号　緑洲団西交差点、朱円団西交差点 登坂車線整備：　国道240号　相生登坂車線整備 　　国道334号　中登坂車線整備 付加車線整備：　国道240号　相生付加車線整備 老朽化・防災対策の整備 橋梁補修：　国道 39号　美幌町付近 舗装修繕：　国道 39号　美幌町付近 トンネル修繕：　国道334号　新栄町 防雪対策：　国道235号　越武町

管内市町村の概要

防雪対策

暴風雪災害訓練

◆ 冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、大雪・暴風雪時の対策等を推進します。

国道39号における除雪作業状況

◆ 防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観形成や教育施設等の観点から実施して いる電柱の新設抑制及び無電柱化について、広域ブロック単位で積極的に導入しつつ、事業のスピードアップを図ります。

国道39号 北見市役所前

◆ 安全・安心な移動環境の確保

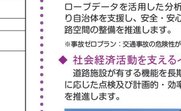
事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した客観的な交通量の分析により、事故の危険性が高い区間を優先的に重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」※を推進します。

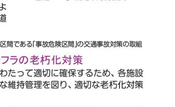
国道333号 網走市踏鳴改良

※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組

◆ 社会経済活動を支えるインフラの老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。


橋梁点検車による定期点検


舗装の修繕状況

北見市 Kitami City
①面積 1,427.41km ■人口 107,771人
麺発祥の地で特徴のたまネギを生産量日本一を誇る農業や、ホタテなどの海産物を誇ってます。人口に対する医者・病院の数は全国一番く、歯赤病の死亡比とも有名です。また、常呂自治区はカーリングの町として知られており、多くのカーリング競技・大会が開催されています。温根湯温泉には国の指定の温泉文化財である旅館(北の大地の家)が唯一、北海道内に1つです。
網走市 Abashiri City
②面積 470.84km² ■人口 31,311人
知床・阿寒摩周・大雪山の3つの国立公園に囲まれた網走国定公園の中央に位置しています。ラムサール条約登録湿地の濤沸湖をはじめとする3つの湖や、知床連山を望める絶・天都山を擁しています。また流氷が接岸するなどダイナミックな自然景観などがあります。サクラのホタテなどの新鮮な魚介類がずらっと並べられたり、網走湖のシジミとウカサギは全国一の漁獲量を誇ります。
紋別市 Mombetsu City
③面積 830.67km² ■人口 19,396人
オホーツク紋別空港が立地する本州の玄関口。また、国内最大級(直線地域)の中規模ホテル「流氷観光ホテル」や「ホテルMEMU」、キャンプ場や老舗名湯鴻朝温泉(旅館ときわ)など、日本最古の国宝に指定された「能海温泉(湯温泉)」など既所がいっぱいです。また、スキー場のウッジが開設した国の都「温根湯のオホーツク」では、ツリートレッキングやサマーグレンジ、東洋一スリリングなジップライン が楽しめます。
美幌町 Bihoro Town
④面積 438.41km² ■人口 16,774人
「そらっとパノラマ美幌峠」は、全道一高所行の観光地。天下の絶景と称され、夜景や朝霧は必ずのメノ人ラマ だけが楽しめる北海道の新ランキング「再度訪れたい」部門では1位を獲得しています。最域の主要都市に近接する優れた立地と、良質にも恵まれ、活況あふれて今、美幌産業で美幌の味が、スーパークリーン牧場は、ブランドの美味しさ誇るんで、多くのリピーター、パラリンピック選手も愛ぶしています。
津別町 Tsubetsu Town
⑤面積 716.80km² ■人口 3,872人
林業が盛んで、木材・木製品製造業は、全道一位を誇り、また、豊かな自然環境を活かした観光・レクリエーション資源が多く、津別林の麓に あるユーパロ湖は、「北海道遺産」に選定され、ヒグマ、ミンクなどの野生動物が生息しています。また、2021年に開催された東京五輪のメダルケースは町内家具メーカーが潜在木材を使用し、制作、一躍話題となりました。
斜里町 Shari Town
⑥面積 737.13km² ■人口 10,220人
知床世界・知床五湖などがある、世界自然遺産知床を代表する町で、ハトの地区は豊かな湿原です。また、斜里湖も町を代表する湖果で、中でもサケ・マスの海産量は日本トップクラスを誇ります。地場産の農産物と食品を「知床しゃりブランド」として積極的に推しています。
清里町 Kiyosato Town
⑦面積 402.76km² ■人口 3,538人
百名山が該当山の雲の多発げた肥沃な大地と豊富な水資源を活かし、畑作を中心とした大規模農業が営まれています。春一枚にかけては、山麓に位行林級の景1時のプ為し、世界遺産の知床世界遺産知床五湖を有力候えるケプクラマスで有名なはくろ の湖が人気です。冬は流氷が見られるので、雪で白く染まった群雲と空とのコントラストが美しく魅力的に写る美しいです。
小清水町 Koshimizu Town
⑧面積 286.89km² ■人口 4,242人
小清水原生花園のほか、オホーツクの村や、いっぱい ら高温、そして雪解と清酒が印象のふれあいセンターと広がることろ多い小清水町の町で、ぜひ一度ご ふ ネ ド リ リ ー ク (以東原トーム約3倍)にあるを13ha の日陰地に カサブラシ、マルンボーロなど世界各地から集められた約100品種・700万輪のユリが7月上旬から9月上旬まで咲き乱れます。清内に3年間ほ ん の、コリンの20世、神輿、・建築の風等多列化行っています。
訓子府町 Kunneppu Town
⑨面積 190.95km² ■人口 4,387人
訓子府町は並地特有の寒暖差のある気候や常況川に沿って広がる肥沃な大地を生かした、農業の町です。主要農作物はタマネギ、ジャガイモ、小麦、てんさい等など が挙げられます。学校給食の、タマネギ・ジャガイモは全て訓子府産を使用しており、農家は生産者と、ア ス パ ラ ( ) 可 (長いも)、チーズ(ムゴの特産品が難客用に入 気があります。フォトスポットのメルヘンの日ものおすすめです。
置戸町 Oketo Town
⑩面積 527.27km² ■人口 2,452人
本日の美しさが特徴のた工以「オケクラ下」が特徴品。森林工芸館では、オケクラ下をはじめ、置戸町ゆかりのキャラ「おけがくんとくんし」グッズ等を販売しています。また、置戸の自然を満喫できるのが、鹿ノ子ダム(おけと湖)下流にある、鹿の子沢です。全国初本格流通に認定された三本線で鹿の子沢、日帰り温泉もおすすめです。
佐呂間町 Saroma Town
⑪面積 404.94km² ■人口 4,554人
サロマ湖展望台から一望できるサロマ湖と砂浜海岸で構成された オホーツクの海は、その雄大な景観とともに、ホタテや牡蠣などの豊かな恵みをもたらしてくれます。また、姫作や鹿島などの農業も盛んで、カントリーサインにもなっているカボチャは、本町を代表する農産物です。湖の東はサロマ湖ではホタテの調達をやサロマ湖ブランドなど、多くの特産品を楽しむことができ、人気の観光スポットになっています。
遠軽町 Engaru Town
⑫面積 1,332.45km² ■人口 17,027人
奥遠軽(ガルラいわ)と日本最大級のスケート場、世界中の木製おもちゃを集めた「たっちゃワールド」、キャンプ場や老舗名湯鴻朝温泉(旅館ときわ)、日本最古の国宝に指定された「能海温泉(湯温泉)」など既所がいっぱいです。また、スキー場のウッジが開設した国の都「遠軽のオホーツク」では、ツリートレッキングやサマーグレンジ、東洋一スリリングなジップライン が楽しめます。
湧別町 Yubetsu Town
⑬面積 505.79km² ■人口 7,720人
農業・畜産を中心とした農業と沿岸・漁業中心とした漁業など第一次産業が基幹産業の町です。2020年に「バイオマス産業都市」の認定を受け、バイオマス産業を軸とする まちづくりを推進しています。約200種 万 次の色彩豊かなイチョウ並木は、観光客の人気の名所です。また、約400ヘクタールのオホーツクリゾート湧洋は、ゴルフ場、ホテル、ログハウスなどがあります。オホーツク海産のホタテや牡蠣などの海の幸が人気。
滝上町 Takinoue Town
⑭面積 766.69km² ■人口 2,150人
日本最大級の芝ぞくと海上公園は何名で、また、春の白樺ハーブガーデンは春から秋にかけて約300種類のハーブや季節の草花が咲き誇ります。市街地の中心部を流れる滝上川沿いに遠歩道が整備され、バードウォッチングや流氷釣りを楽しむことができ、美しい日本の歩きたくなるみち500選に選ばれた景観(さんぽんまえ)散策もおすすめです。
興部町 Okoppe Town
⑮面積 308.08km² ■人口 931人
村の面積の9割が森林に覆われ、人口は約1,000人。基幹産業は酪農でオホーツク管内唯一の村です。公共施設の外観がオレンジ色に統一され、調戸年(せとろ)川が小さな町を流れ、美しい景観となっています。また、村の特産品として、ブランドとなっている「ルバーブ」、有機ナーズなどとれる地域です。
西興部村 Nishiokoppe Village
⑯面積 636.88km² ■人口 3,907人
オホーツク海に突き出た日の出が神秘、温泉や、魅力的なキャンプ場などがある観光スポット、観軽産業の漁業では、毛ガニとサケ が代表的な水産品です。サケのもで今時に、数千尾に1本ともいわれるメジロ目ばりの、海自ブランド「雄宝」として最選ばれた天然鮭毛サケは高級で取引されています。
雄武町 Ohkhotsk Town
⑰面積 343.66km² ■人口 6,260人
オホーツクの空の玄関口と潮回空港を擁し、全国自然100選の薄明公や北海道最初の歴史遺産の潮回遺跡の遠か、1 0 ha の樹園ったばに芝桜が咲く「ひがしもこと芝桜公園」など、四季折々に風光明媚な景観が楽しめる名町です。また、ホタテ、ホッケ、ブリ、ウニ、ホッキ、ツブ、ホヤ